

大空に翔ける

令和2年度日之影中学校だより



日之影中HP

9月号
校長 伊東 泰彦

一蓮托生！気持ちを一つに盛りよがりました！

コロナ禍での休校に加えて台風の影響もあり、十分な練習はできませんでしたが、限られた時間で集中力を発揮し、様々な工夫を凝らして精一杯体育大会を盛り上げ、楽しみました。

感染予防のため、声を出しての応援場面は必要最小限にとどめるとも、身体の接触のある競技・演技を取りやめ、例年になく障害物競走や学年対抗綱引きなどに振り替えて

プログラムの再構成しました。競技の合間の決意表明や意気込みを語る場面などが工夫され、この時間を楽しくもつとるみんなの気持ちが良いと思えます。



やりきった感いっぱい3年生
本当によく頑張りました！



ソーシャル・イスタンス版・綱引き



白団長・坂本佑月くん
副団長・松中佑月さん



赤団長・多賀駿輔くん
副団長・福川陽菜さん

今年は短期間の中で覚えることが多く大変な中、団のみんなが自分たちについてくれて感謝しています。競技が減り、応援もカットされ「なんでよりによって今年なのか」と悔しかったです。

でも「なんでよりによって…」を「今年ならではの体育大会にしよう！」とプラスに考えることによって、テンションを上げて体育大会に臨むことができました。十分な応援はできませんでしたが、応援賞もとれて嬉しかったし、副団長として心にしみる時間、思い出になりました。

短期間の練習でしたが、難しいダンス練習などについてくれた団員のおかげで、思い出に残る良き体育大会になりました。

今年初めて行われた障害物競走では、協議をしている人が団の前に来るとみんながすごく盛り上がって応援するので、応援の人たちも一緒に競技をしているみたいで楽しめました。午前中だけの開催でしたが、全員が1つのことに団結して臨むことができ、赤団のみんなと一緒に競技できて本当に良かったと思えました。

コロナの時代をどう過ごすか！

2学期がスタート！



今年はコロナ禍の影響で、例年より短く、制約の多かった夏休みでした。2学期のスタートにあたり、代表生徒に様々な思いを聞いてみました。



生徒会
山口那華さん

夏休み中は、実力テストや英検の勉強に力を入れました。受験は「夏が勝負」なので、課題は早めに終わらせて過去問や面接の練習にも取り組みました。面接官役をやってくれた両親に感謝しています。

私は将来、英語を使う仕事に就きたいと考えているので、英語に力を入れている学科に進学したいと思っています。

3年
多賀駿輔くん



今年の夏休みには、皿洗いや掃除などの家の手伝いをやるようになりました。3年生なので、2学期以降はこれまで以上に勉強を継続してがんばっていきたいです。

僕は野球が好きで、部活をがんばったことが中学校時代の最も楽しかった思い出になっています。高校に行ってもやりたいと思っています。



2年
甲斐百華さん

今年の夏はコロナで部活が出来なかったなので、自主練習を頑張りました。理由は陸上部で「この夏私は速くなる！」という目標を掲げていたからです。走るときのフォームを少し改善できたと思っています。

2学期は、これまでの消極的だった自分を乗り越え、積極的に発言していきたいです。

1年
寺尾拓海くん



夏休み中に部活がなかったけど、もらった背番号「1」に恥じないように自主練習を頑張りました。次の大会では活躍したいと思います。

中学生になってからは、自分から行動できるようになりました。2学期は英語力アップにチャレンジしていきたいです。これからはグローバル社会ですので、海外の人たちともコミュニケーションをとれるようにしたいです。

行事・イベントの中止などに伴うお知らせ

コロナ禍の影響で、8月に計画していた「小学6年生向けオープンスクール」や「中3生徒と地域との協働・ヒノカフェ①」が中止または延期となりました。オープンスクールの内容については動画DVDを作成し、11月までに各小学校へ届ける予定です。ヒノカフェについては9/11に実施し、10月号校長だよりに掲載したいと思います。

サム先生、ありがとうございました！



【サム先生からのメッセージ】

It makes me sad to say that I am leaving. 私はここを離れることがとても寂しいです。
I truly enjoyed teaching at this school. この学校で教えることは本当に楽しかったです。
Sometimes the unexpected happens though. 時には予期しないことも起こります。
I will remember everyone fondly as I return to the USA. アメリカに帰ってもみんなのことを思い出します。
Please take good care of yourselves! 体に気をつけてくださいね！

Good bye Sam!!

Thank you so much for the wonderful time, we had such a good time.

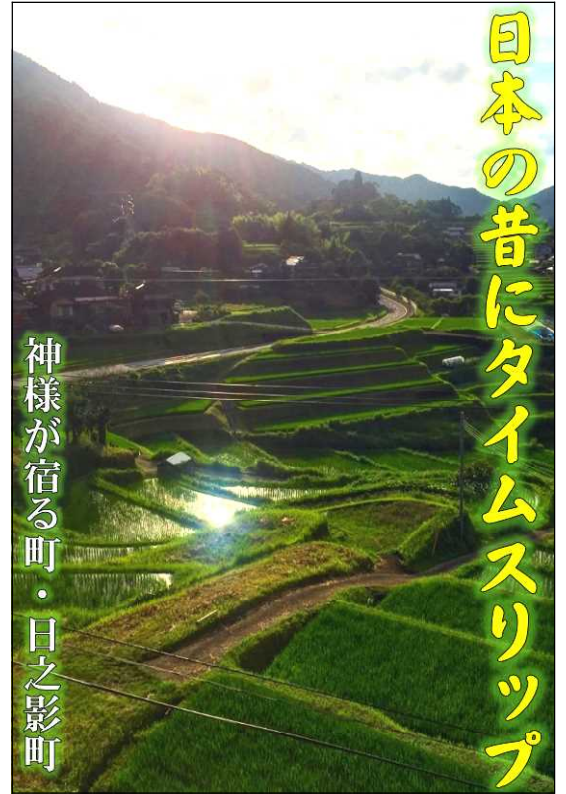
We will never forget you. Take care of yourself until the day you meet again!!

ふるさとへの思い

左の作文は「令和2年度青少年の主張」の応募作品です。また、下の写真は夏休みの課題として全校生徒に取り組んでもらった「日之影PRポスター原画」の代表作品の一部です（4面のコラム「ひのかげの郷」参照）。

このような形で、生徒たちの中に郷土愛が育まれていることを、大変嬉しく思います。

日本の昔にタイムスリップ



神様が宿る町・日之影町



ふとした瞬間、癒やしの時間
日之影町セラピーロード

「誇れる町」 二年 甲斐陽菜

私の住む町・日之影町は、自然が豊かで人は優しく、歴史のある町です。春には桜やツツジが咲き誇り、秋には紅葉で山が色鮮やかになります。

でも、この景色も私には見慣れたもので、今までに特に何かを感じることはありませんでした。私はこれまで、日之影町の良いところは何かと聞かれると、特に何も考えずに「自然が豊かなところですよ」と答えていました。今まで日之影町の良さ

に気付ける機会はたくさんありましたが、私はあまり関心をもてず、将来は日之影町から出て行くだろうと考えていました。

る畑に行きました。山の植物は、家の周りには植物とは違うものも多くありました。家の周りにも桜の木はありますが、山の桜はちょうどその時満開でした。手入れもしていない桜が満開になっていることに私は驚きました。そのことに気づき、周りをよく見るようになりました。散歩をすればスミレやりんどうの花が咲いています。知らなかつた植物の名前を教えてください。優しい人もいます。そんな日之影町に生まれてよかったなと改めて思いました。夏になると、いろいろな虫が飛んできます。私の家では夜は外に電気をつけているので、かざ

と虫やくわがたが飛んできます。川に行くと水がとてもきれいで、魚が泳ぐのが見えます。秋には紅葉が赤くなり、イチブは黄色になり、山が色とりどりになってきれいです。世界農業遺産にも認定されている棚田の風景も、パッチワークのようで見事です。冬になると山は寂しくなりますが、雪が降ると白く染まり、早く春が来くほしいと思ってしまう。このように、日之影町の自然は四季折々の姿を見せてくれます。

自然だけではありません。日之影町には誇れる歴史もあります。私の住む地区では無形民俗文化財に指定されている深角団七踊りがあります。深角地区には、明治二十年頃、高千穂地区を通して伝承されたそうです。団七踊りは全国各地にも伝わっています。が、深角の踊りのように一段から十二段まで歌舞伎の段物と同じ形を残して現在も踊り続けられているのは、とても珍しいのだと思う

です。身近すぎて気付かなかつたけれど、そんな貴重な文化に自分が携わっていたなんてすごいことだと感じます。私は、小学生の頃から祭りやお盆で踊っていますが、地域の人たちと踊るのはとても楽しいです。これからも続けていきたいと思っています。

このように日之影町には良いところがたくさんあることに改めて気付きました。でも私

が知らない日之影の良さもまだまだあるので、知らないかと思えます。これから、この町の自然と伝統を守っていくため、我が町「日之影」についてもっと知る努力をしていきたいです。

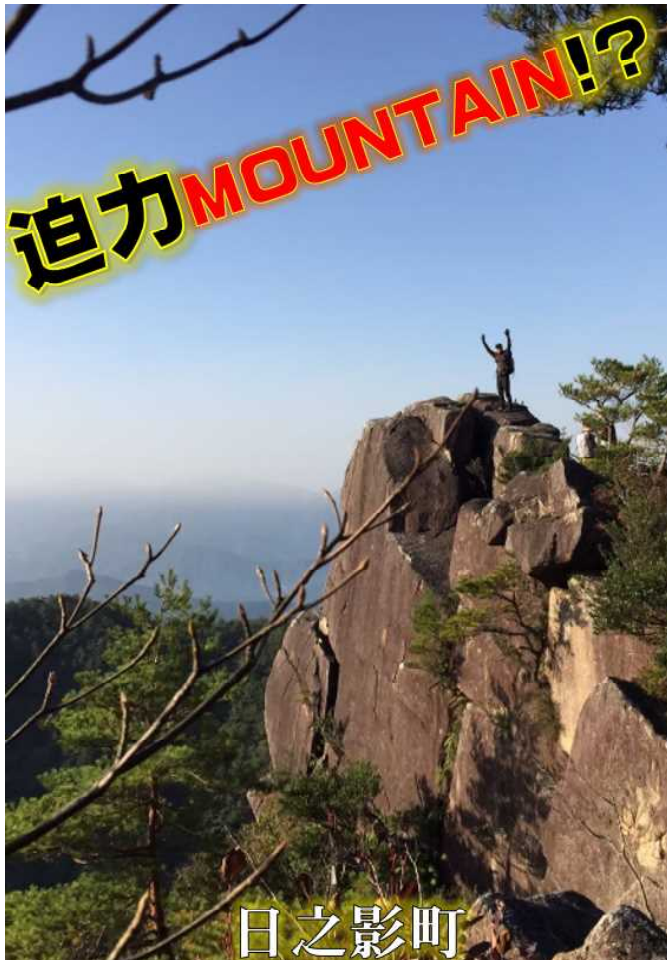
私は日之影について考えるきっかけをくれた父に感謝したいと思います。これからは「日之影町の良さは何ですか？」と聞かれたら、しっかりと考えて相手に伝えるように美しい自然や歴史ある芸能について話していきます。

これからも住み続ける日之影を、私はずっと守っていきたくです。

ひのかげの郷

【ふるさとを見つめる眼をどう育てるか】 先

日、安倍総理の辞任が発表されたが、第二次安倍政権発足時に「地方創生」が華々しく提唱されたことを思い出す。コロナ禍によって今年には地方の魅力が再注目され始めたが、この6年で何がどう変わっていかうとしていたのか▼6年前、次のような課題が指摘されていた。「①中山間地／過疎化↓高齢化↓集落の存続危機」「②大都市／空圏／過密化↓コミュニケーション不足↓地域への無関心」。この課題解決へ向け、①の中山間地では、協力隊やNPO等の若者との人的交流、森林セラピーなどを含むグリーンツーリズム、特産品のフォーカス戦略、PR動画配信等々。今後はますますプロデュースカのある人材が求められそうである▼では、次世代人材の中学生たちにはどのような学びを提供すべきか。本校では、町のキャリア教育推進プランに則り、県教委の指定事業とも絡めながら、地域と協働する学びの構築に取り組み始めている。コロナ禍の影響でいろんな制約は受けそうだが、3年生の「ひのかげ近未来会議」、2年生の「探究型職場学習」、1年生の「ひのかげ探訪」など楽しみである▼加えてこの夏は、日之影のPRポスターを制作することとし、全校生徒にポスター原画作りに取り組んでもらった。そもそも日之影の風景は美しいので、生徒それぞれが持つ「ふるさとを見つめる眼」で、そのどこにフォーカスして強い言葉をのせていくか…。子どもたちの感性は実に豊かで面白い。なかなかの作品が出そろったと感心した。校内で選考した16作品(4点を本誌に掲載)から投票で選ばれる8枚を大判ポスターにする。完成したポスターは各行事やイベントで展示しますので楽しみにしてください。(校長・伊東泰彦)



お詫び

先月号の「ひのかげの郷」に掲載していた、発電所の写真を間違えておりました。申し訳ありませんでした。

【9・10月の主な行事】

9月

19・20日…中体連秋季大会(郡大会)
24日…郡英語暗唱・弁論大会
26日…中体連秋季大会(水泳)
27日…中体連秋季大会(陸上)

10月

8日…振替休日(10/10日分)
10日…文化祭
15・16日…3年実力テスト
20日…郡駅伝大会
24・25日…町作品展(宮水小体育館)